
2017年度 通期

決算説明資料



2018年 5月11日

2017年度 通期業績

■ 通期連結業績	4
■ セグメント別売上高・経常利益	5
■ セグメント別業績内訳	6
■ 連結貸借対照表	10
■ キャッシュ・フローの状況	11
■ 設備投資・減価償却費・研究開発費	12

2018年度 通期業績予想

■ 通期連結業績（予想）	14
■ セグメント別売上高・経常利益（予想）	15
■ 年間配当（予想）	16

注 記 事 項

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2017年度 通期業績

2017年度 通期連結業績



(単位：億円)

	2016年度	2017年度	増減	
			金額	前年比
売上高	6,705	7,536	+830	112.4%
営業利益	413	424	+11	102.6%
(営業外損益)	(▲1)	(23)	+24	—
経常利益	413	447	+34	108.3%
(特別損益)	(▲39)	(▲42)	▲3	—
親会社株主に帰属する当期純利益	223	252	+28	112.7%
有利子負債	1,724	2,032	+308	117.9%
自己資本	2,560	2,780	+220	108.6%
総資産	6,291	6,949	+658	110.5%
経常利益率	6.2%	5.9%		
ROE	9.1%	9.4%		
EPS	114.53円	128.95円		
自己資本比率	40.7%	40.0%		
ネットD/Eレシオ	0.55	0.65		

2017年度 セグメント別売上高・経常利益

(単位：億円)



		2016年度	2017年度	増減		主な売上高・利益増減要因
				金額	前年比	
産業ガス関連	売上高	1,602	1,593	▲9	99.4%	<ul style="list-style-type: none"> ●高炉向けオンサイトガス供給において顧客工場の設備トラブルが影響 ●電力料金の上昇により産業ガスの製造コストが増加 ●国内製造業の堅調なガス需要を背景に、地域のガス事業が順調に推移
	経常利益	163	162	▲1	99.4%	
ケミカル関連	売上高	613	680	+66	110.8%	<ul style="list-style-type: none"> ●市況変動に伴いコークス炉ガス精製の価格が上昇 ●ニードルコークスの市況回復により(株)シーケムの赤字幅が縮小 ●キノ系製品の増販、無水フタル酸の市況回復と増販
	経常利益	▲7	19	+25	-	
医療関連	売上高	1,300	1,709	+409	131.5%	<ul style="list-style-type: none"> ●SPD事業（病院物品物流管理）の新規大型案件を受託 ●医療サービス事業の収益改善が進展 ●川本産業(株)などの新規連結効果
	経常利益	92	103	+12	112.5%	
エネルギー関連	売上高	450	515	+64	114.3%	<ul style="list-style-type: none"> ●C P 価格に連動してLPガス・灯油の販売価格が上昇 ●重油からL P ガスへの燃料転換による工業用ユーザー向けの増販 ●販売促進費が増加
	経常利益	39	39	+0	100.4%	
農業・食品関連	売上高	1,184	1,337	+153	112.9%	<ul style="list-style-type: none"> ●飲料事業が好調に推移
	経常利益	41	49	+7	118.1%	
物流関連	売上高	424	449	+25	105.9%	<ul style="list-style-type: none"> ●食品物流を中心とする3 P L 事業において配送量が増加 ●ドライバー不足による人件費の増加、軽油価格の上昇が影響
	経常利益	23	19	▲4	83.5%	
その他 (海水・ゾル・ 情報電子・その他)	売上高	1,132	1,253	+122	110.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●海水事業が堅調に推移 ●エアゾール事業、情報電子材料事業が堅調に推移 ●リング事業が好調に推移
	経常利益	76	82	+6	107.8%	
(調整額)	経常利益	▲14	▲25	▲11	-	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹業務システムの導入に伴いコストが増加
合計	売上高	6,705	7,536	+830	112.4%	-
	経常利益	413	447	+34	108.3%	

* 調整額：各セグメントに帰属しない一般管理費等

<産業ガス関連セグメント>

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	前年比	主な売上高増減要因
ガス	1,149	1,178	102.5%	<ul style="list-style-type: none"> ●国内製造業の堅調なガス需要を背景に、地域のガス事業が順調に推移 ●高炉向けオンサイトガス供給において顧客工場の設備トラブルが影響
機器・工事	453	415	91.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●前年に大型工事案件を計上していたことによる反動影響
計	1,602	1,593	99.4%	—

<ケミカル関連セグメント>

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	前年比	主な売上高増減要因
コールケミカル	371	406	109.5%	<ul style="list-style-type: none"> ●市況変動に伴いコークス炉ガス精製の価格が上昇
ファインケミカル	104	119	114.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●産業用ロボット向けに高機能回路製品の販売が拡大
川崎化成工業	139	155	111.4%	<ul style="list-style-type: none"> ●キノン系製品の増販、無水フタル酸など汎用品の市況回復と増販
計	613	680	110.8%	—
シーケム(持分益)	▲22	▲3	—	<ul style="list-style-type: none"> ●ニードルコークスの需給がタイト化し、製品市況が回復したことで、事業環境が改善

<医療関連セグメント>

（単位：億円）

	2016年度	2017年度	前年比	主な売上高増減要因
医療ガス	89	90	100.6%	●市場が縮小傾向の中、医療用酸素の販売数量が増加
設備	291	309	106.4%	●病院設備工事・ガス消火設備が堅調に推移
医療サービス	558	760	136.1%	●SPD事業（病院物品物流管理）の新規大型案件を受託
医療機器	48	59	122.3%	●一酸化窒素吸入療法の導入が拡大
在宅医療	94	96	101.6%	●在宅酸素療法が堅調に推移
その他	218	395	180.8%	●川本産業(株)などの新規連結効果
計	1,300	1,709	131.5%	—

<エネルギー関連セグメント>

（単位：億円）

	2016年度	2017年度	前年比	主な売上高増減要因
LPガス	424	493	116.5%	●C P 価格に連動して、LPガス・灯油の販売価格が上昇 ●地域事業会社と連携した工業用ユーザーの燃料転換が順調に進展
天然ガス関連ほか	27	21	79.5%	●天然ガスの販売数量が減少
計	450	515	114.3%	—

<農業・食品関連セグメント>

（単位：億円）

	2016年度	2017年度	前年比	主な売上高増減要因
農 産	396	394	99.5%	●天候不順による入荷不足や青果相場の乱高下が影響
食 品 リ リ ー シ ョ ン	346	442	127.9%	●ハム・ソーセージ分野で生ハム、加工食品分野で冷凍野菜の販売が拡大 ●大山ハム(株)、プレシアグループが新規連結（上期分）
飲 料	442	500	113.3%	●野菜系飲料の需要拡大に加え、ホット飲料が伸長し、順調に推移
計	1,184	1,337	112.9%	—

<物流関連セグメント>

※2016年度分は運送と3 P Lを合算して集計

（単位：億円）

	2016年度	2017年度	前年比	主な売上高増減要因
運 送	377	196	105.9%	●新規拠点の開設により一般貨物分野において荷扱量が増加
3 P L		203		●新規エリアでの受注開始により大手コンビニチェーン向けの配送量が伸長
車 体	48	50	105.8%	●工場拡張によりトレーラーの製作販売台数が増加
計	424	449	105.9%	—

運送：トラックやシャーシなどを使った一般貨物分野と産業ガスや医療品の輸送などの専門輸送分野

3 P L（サード・パーティー・ロジスティクス）：配送や保管、荷受など、荷主の物流全体を一括して請け負う物流分野

車体：北海道車体（株）を中心とした車体製作分野

<その他セグメント>

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	前年比	主な売上高増減要因
日本海水	268	295	109.9%	●リード吸着剤など環境事業・水処理設備事業が順調に推移
タテホ化学	88	96	108.7%	●電磁鋼板用マグネシア、マグネシアセラミックの販売数量が増加
海水	356	391	109.6%	—
ゾル	172	188	109.1%	●化粧品やUVカットスプレーなど人体用品の販売が拡大
情報電子材料	362	381	105.1%	●エレクトロニクス・自動車向けに、電気・電子材料の販売が拡大
その他	241	294	122.0%	●Oリング事業が好調に推移
計	1,132	1,253	110.7%	—

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	増減	
			金額	前年比
総資産	6,291	6,949	+658	110.5%
流動資産	2,565	2,874	+309	112.1%
固定資産	3,726	4,075	+349	109.4%
負債	3,484	4,003	+519	114.9%
流動負債	2,025	2,232	+207	110.2%
固定負債	1,459	1,771	+312	121.4%
自己資本	2,560	2,780	+220	108.6%

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	増減
営業キャッシュ・フロー (①)	589	478	▲111
投資キャッシュ・フロー (②)	▲444	▲616	▲173
財務キャッシュ・フロー (③)	▲86	45	130
キャッシュ・フロー合計 (①+②+③)	60	▲94	▲153
現金及び預金等の期末残高	304	224	▲80
フリーキャッシュ・フロー	145	▲139	▲284

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	増減
設備投資	406	613	+207
減価償却費	255	271	+16
研究開発費	28	28	▲1

<セグメント別設備投資>

(単位：億円)

	2016年度	2017年度	増減
産業ガス関連	146	183	+40
ケミカル関連	29	22	▲7
医療関連	29	39	+10
エネルギー関連	24	31	+8
農業・食品関連	34	50	+15
物流関連	41	55	+14
その他（発電関連含む）	105	233	+128
計	406	613	+207

2018年度 通期業績予想

2018年度 通期連結業績（予想）

（単位：億円）

	2017年度 （実績）	2018年度 （予想）	増減	
			金額	前年比
売上高	7,536	8,200	+664	108.8%
営業利益	424	485	+61	114.4%
経常利益	447	500	+53	111.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	252	280	+28	111.2%
有利子負債	2,032	2,362	+330	116.3%
自己資本	2,780	2,997	+218	107.8%
総資産	6,949	7,500	+551	107.9%
経常利益率	5.9%	6.1%		
ROE	9.4%	9.7%		
EPS	128.95円	143.31円		
自己資本比率	40.0%	40.0%		
ネットD/Eレシオ	0.65	0.72		

2018年度 セグメント別 売上高・経常利益（予想）



（単位：億円）

		2017年度 （実績）	2018年度（予想）			増 減	
			通期	上期	下期	金 額	前年比
産業ガス関連	売上高	1,593	1,860	863	997	+268	116.8%
	経常利益	162	190	77	113	+28	117.5%
ケミカル関連	売上高	680	700	342	358	+20	103.0%
	経常利益	19	26	12	14	+7	140.2%
医療関連	売上高	1,709	1,830	809	1,021	+121	107.1%
	経常利益	103	116	34	82	+13	112.4%
エネルギー関連	売上高	515	570	220	350	+55	110.8%
	経常利益	39	42	8	34	+3	106.7%
農業・食品関連	売上高	1,337	1,450	712	738	+113	108.5%
	経常利益	49	53	30	23	+5	109.3%
物流関連	売上高	449	490	241	249	+41	109.1%
	経常利益	19	25	13	12	+6	132.4%
その他 （海水・ゾル・ 情報電子・その他）	売上高	1,253	1,300	613	687	+47	103.7%
	経常利益	82	84	36	48	+2	102.3%
（調整額）	経常利益	▲25	▲36	▲17	▲19	▲11	-
合 計	売上高	7,536	8,200	3,800	4,400	+664	108.8%
	経常利益	447	500	193	307	+53	111.9%

* 調整額：各セグメントに帰属しない一般管理費等

配当性向目標：連結純利益の30%

（単位：円）

1株あたり連結純利益および配当金					
	2016年度		2017年度 (実績)		2018年度 (予想)
1株あたり連結純利益	114.53	➡	128.95	➡	143.31
中間配当金	14.00	➡	17.00	➡	19.00
期末配当金	20.00	➡	21.00	➡	19.00
年間配当金	34.00	➡	38.00	➡	38.00

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。